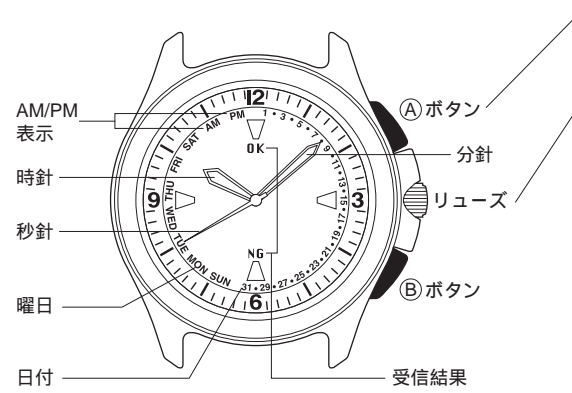


1.各部の名称



Ⓐ ボタンは基準位置の確認、合わせのときのみ使用します。それ以外の場合は押さないでください。本機のリューズは時刻合わせのためのものではありません。ボタンで時刻合わせします。詳しくは
5.時刻・カレンダーの合わせ方
6.基準位置の確認、合わせ方を参照してください。

2.電波時計について

標準時刻電波について
標準時刻電波（以後標準電波と略す）は以下の2ヶ所よりほぼ24時間送信されていますが保守作業や障害対策で一時的に中断される事があります。（停波情報は、<http://jij.crl.go.jp>の標準電波運用情報をご覧ください。）

	送信周波数	送信所所在地
おおたかや山標準電波送信所(福島局)	40KHz	福島県田村郡都路村おおたかや山
はがね山標準電波送信所(九州局)	60KHz	佐賀県佐賀郡富士町/福岡県前原市境界はがね山

電波時計について
この時計は日本国内の福島局または九州局の標準電波を受信して時刻やカレンダーを自動的に合わせる事ができます。

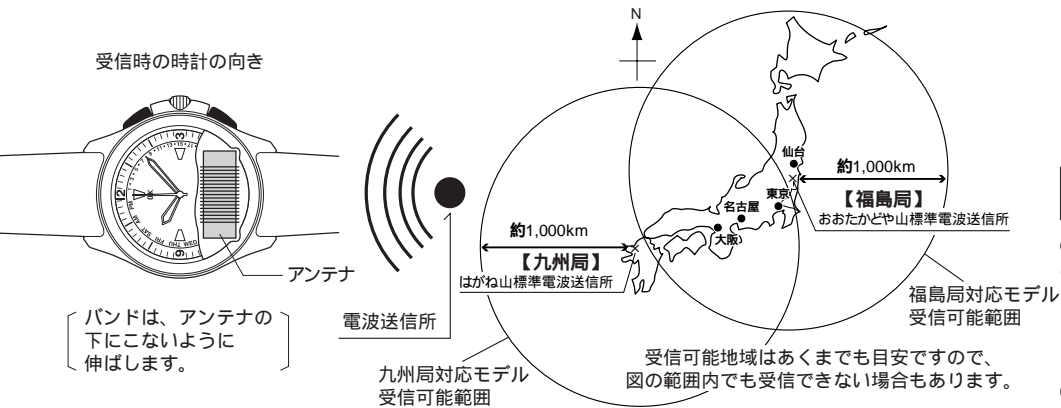
本電波時計は、2種類福島局、九州局のいずれかの電波に対応しております。
福島局対応モデル...パッケージに赤丸シールが貼られています。（九州局の電波は受信できません。）
九州局対応モデル...パッケージに赤丸シールは貼ってありません。（福島局の電波は受信できません。）

○自動受信

1日最大3回（時計の表示時間基準で午前2時、3時、4時）自動的に受信をおこないます。3回のうち1回受信が成功すると以後の自動受信をキャンセルし、翌日（午前2時、3時、4時）まで自動受信は行われません。

電波受信範囲の目安

この時計が受信可能な地域の目安は標準電波送信所より約半径1000kmです。但し標準電波の届く範囲は時間帯や季節、気候条件、周辺環境により変化する事があります



○上手に受信する為に

- 電波は金属の遮蔽物により受信しにくい事があります。鉄筋コンクリートの建物などではできるだけ標準電波送信所方向の窓の近くで受信してください。
- 安定した受信を行う為に受信中は時計を動かさないでください。
- 時計の6時側（ケース内の6時位置にアンテナが組込まれています）を標準電波送信所に向けて安定した受信を行う事ができます。

受信に要する時間は最大で10分です。標準電波送信所からの距離、時間帯、季節変化、天候等により変化する事があります。

○受信が困難な場所

- 極端に高温、低温な場所
- 鉄筋コンクリートの建物の中や地下、高層ビルや山などの谷間
- 車、電車、飛行機等の中
- 高圧線、電車の架線、飛行場の周辺等ノイズの発生しやすい場所
- テレビ、冷蔵庫、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やインバータ付き蛍光灯、OA機器、ご使用中の携帯電話の近く

受信困難な環境下では時計に内蔵されているクォーツの精度で作動します。受信可能な環境に戻ると受信を行う事により正確な時刻を表示します。また、受信を行ってから次の受信を行うまでの間も時計に内蔵されているクォーツの精度で動作します。

3.受信結果の確認

7秒針が運針している状態でⒷ ボタンを押すと最新の受信結果を確認する事ができます。

OK（秒針が12時位置で停止）.....受信していました
NG（秒針が6時位置で停止）.....受信していませんでした

受信結果確認がNG表示の場合、秒針が通常運針を始めた後に受信を行います。受信中も秒針は運針を続けますので、そのままお使い頂いても構いませんが、受信に適した環境に置いて2~10分お待ち頂きますと安定した受信を行う事ができます。

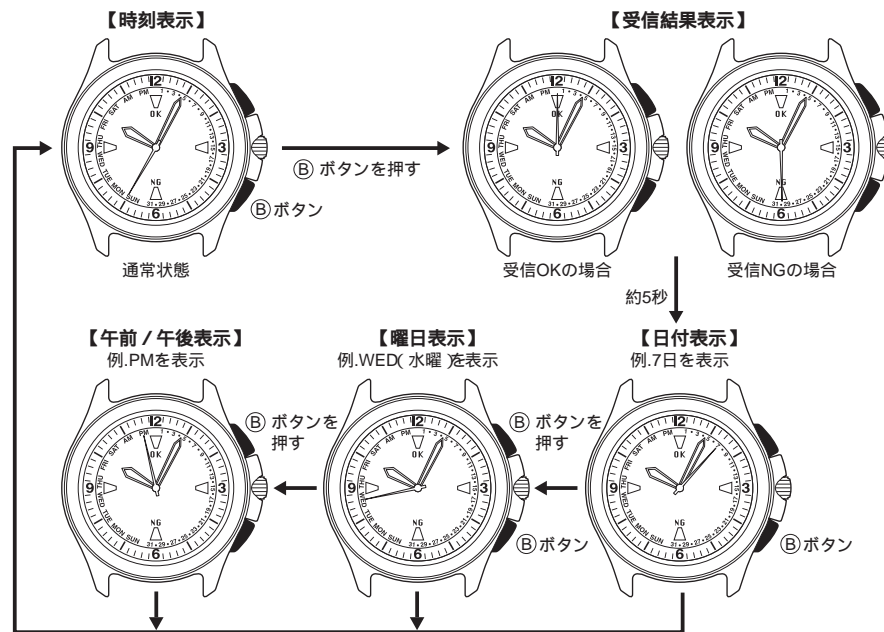
受信を行う際には（ 2.電波時計について の 上手に受信する為に）を参照し、受信しやすい環境で行ってください。

受信結果の確認で秒針がOKを指しているにも関わらず正しい時刻、カレンダーが表示されないときは各針の基準位置を確認してください。基準位置が合っていない（ 6.基準位置の確認、合わせ方 参照）場合には合わせ直しを行ってください。

受信結果の確認を頻繁に行うと電池消耗を早めますのでご注意ください。

4.日付・曜日、AM/PMの表示の仕方

受信結果表示後、約5秒で、秒針が日付を指します。さらに秒針が日付を指しているときにⒷ ボタンを押すと以下の順で秒針の指す表示が切り替ります。



各表示状態（ ）で、何も操作をせずにいると時計が記憶している正しい時刻と一致したときに秒針が動き出します。秒針が動き出すまで最大2分かかります。

電池交換後および手動での時刻修正などで受信データのない場合はⒷ ボタンを押してもNGだけの表示で日付以降の表示には行きません。

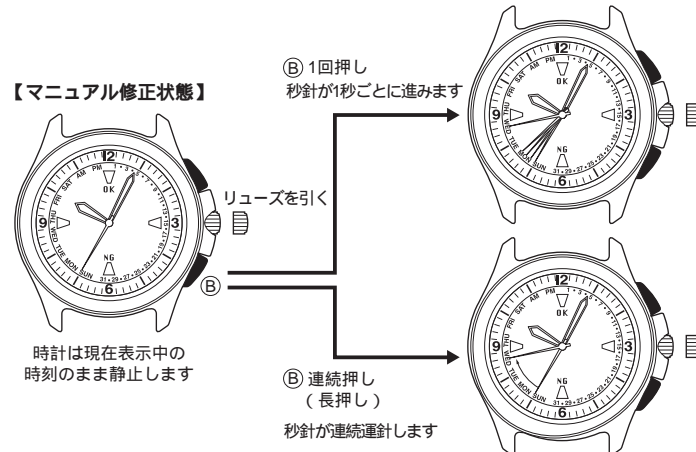
5.時刻・カレンダーの合わせ方（受信の方法）

○受信による時刻の合わせ方

7Ⓑ ボタンを押し、受信結果がNG表示の場合、その後自動的に受信が行われ時刻、カレンダーを合わせられます。受信が成功して、針が早送り状態になりましたら他のボタンの操作は、行わないでください。受信を行う際には（ 2.電波時計について の 上手に受信する為に）を参照し、受信しやすい環境で行ってください。

○手動での時刻の合わせ方（受信が困難な場合）

手動での午前/午後、カレンダー合わせはできません。
7リューズを引くと秒針がその場で停止します。次にⒷ ボタンを押すと秒が1秒進みます。
Ⓑ ボタンを2秒以上押すと連続運針となります。連続運針はⒷ ボタンを放しても保持されます。再度Ⓑ ボタンを押すと連続運針は解除されます。



7秒針が1周すると分針が1分進みます。分針が1周すると時針が1時間進みます。
7時刻合わせが終了したらリューズを押し込んでください。秒針が運針を開始します。

針は逆転しませんので合わせたい時刻に近づいたら連続運針を停止して1秒ずつ合わせる事をお勧めします。

手動での時刻合わせを行うと午前・午後及び日付、曜日のデータが消去され、最初の自動受信は午前・午後に関係なく時計の表示が2時になると受信を行います。受信が成功すると正確な時刻が表示され、日付、曜日、AM/PMの表示が可能となります。

6.基準位置の確認、合わせ方（基準位置は12時00分00秒）

電池交換や時計に強い衝撃を加えられたときや、静電気の影響等で基準位置が狂う事があります。

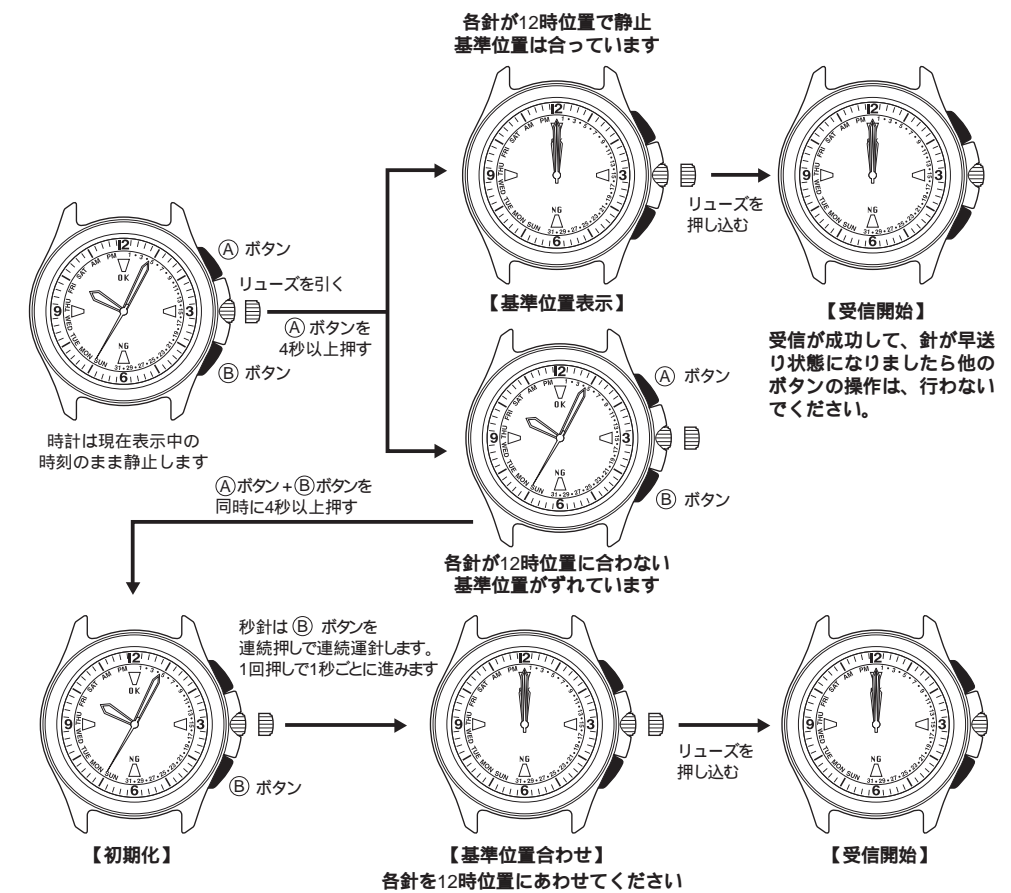
基準位置がズれていると受信しても正しい時刻を表示しませんので合わせ直してください。

○基準位置の確認

7リューズを引いてください。秒針はその場で停止します。次にⒶ ボタンを4秒以上押し続けると針が連続運針を開始し、自動的に基準位置が表示されます。針が停止した所が基準位置です。各針が12時位置に合わせていれば合わせ直す必要はありません。

○基準位置の合わせ方（各針が12時位置に合わないとき）

- 基準位置を合わせる前に必ず初期化を行います。リューズを引いた状態でⒶ Ⓑ 両ボタンを同時に4秒以上押し続けてください。
- 初期化を行った後にⒷ ボタンを押すと針が動きます。（ 5.時刻・カレンダーの合わせ方 の 手動での時刻の合わせ方）を参考にして全ての針を12時位置に合わせてください。
- リューズを押し込むと基準位置合わせが完了し、続いて受信が行われます。基準位置が合っている時の受信では、受信に失敗しても、前に覚えていた時間に戻ります。その場合は、受信しやすい場所で、受信確認による受信を行って下さい。受信が成功して、針が早送り状態になりましたら他のボタンの操作は、行わないでください。基準位置（12時00分00秒）以外でリューズを押し込んだ場合、Ⓐ ボタンを押して受信を解除してください。受信を解除した後、最初から基準位置合わせをやり直してください。



7.こんなときは

正確な時刻を表示しない
受信はできていますか？ Ⓑ ボタンを押して受信してください。基準位置は合っていますか？（ 6.基準位置の確認、合わせ方 参照）にして合わせてください。本時計は、電波を受信しないときは、通常のクォーツ（月差±30秒）として動いております。そのため受信していない期間が長いと時刻が狂う事があります。

時計が止っている
リューズが引き出されていませんか？リューズを押し込んでください。電波受信中か、カレンダー・AM/PM表示中の可能性があります。10分程度待つて、それでも動き出さないときは、基準位置合わせを行ってください。（ 6.基準位置の確認、合わせ方 参照）
電池が切れている。電池交換を行ってください。

受信結果位置（OK/NG表示）がズれている（12時位置または6時位置に秒針が静止しない）
基準位置が合っていない。（ 6.基準位置の確認、合わせ方 参照）にして合わせてください。